



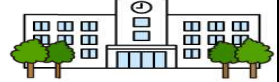
学校教育目標

校訓

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、
たくましく自己実現していく生徒の育成～

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第15号

令和4年6月14日発行 文責：副校長 久我 和廣



「修学旅行を振り返って」 3年1組 齋藤翔弥
修学旅行では、建造物を楽しむ以外にも公共の場での行動の仕方を意識した。新幹線では一般の方と乗り合わせ、友達と静かに楽しむ工夫をした。2日目の班別行動では、公共のバスに乗った際に、席を譲ることもできた。社会の一員としての意識を持つこともでき、有意義な3日間になった。



「楽しかった3日間」 3年4組 羽斗駿平
この3日間で自分の足りないところに気づけた。それは、自分で考えて行動すること。今後は、当たり前前は当たり前前にできるようになっていきたい。また、良かったところもある。友達と協力しながら周りの人にも気を配れたことだ。良いところはさらに伸ばしていきたい。



「修学旅行1番の失敗」 3年2組 関口瑛梨奈
1日目の夜、消灯時間を守らずうるさくして怒られた。周りの人のことを考えていなかった。実行委員長としての自覚も足りなかった。きっと普段と違う環境で大事なところで気が緩んだのだと思う。自分の弱さが出た。自分だけでなく周りのみんなと楽しむためのルール。次回はルールを守ってみんなで楽しみたい。



「最幸な修学旅行」 3年5組 行方彩留
3日間で学んだことが2つある。1つ目は「自ら行動」すること。点呼など率先してできた。2つ目は「仲間の大切さ」。困ったときに実行委員同士で声を掛け合い、助け合えたおかげで最幸な修学旅行になった。これからは1日1日を大切に最後の中学校生活を共に送りましょう！！



「修学旅行を終えて」 3年3組 平沼結依
2泊3日の修学旅行。行くまでの準備から一生懸命取り組んだ。2日目、3日目とどんどん自分から積極的に活動することができた。実行委員として最後までやりきることができ成長することができたと思う。1日が終わると寂しい気持ちにもなったが、クラスの一体感も出てまとまることができた。最幸の3日間になった。

千葉県PTA広報紙コンクール 優秀賞受賞!!

千葉県PTA連絡協議会が主催する令和3年度発行分の千葉県PTA広報紙コンクールにおいて、本校PTA広報部が作成した「NOZOMI(のぞみ)」が見事、優秀賞を受賞しました。

